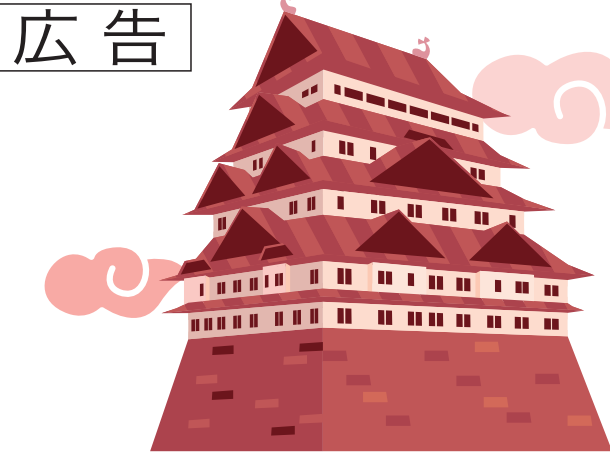
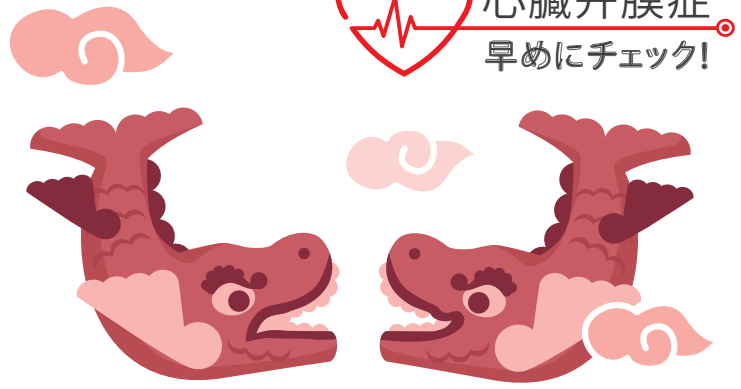


広告

心臓弁膜症 早めにチェック!

# 心臓弁膜症

～あなたの頑張っている心臓のおはなし～



散歩や階段を上るといった日常の動作の中で、息切れ・動悸、胸の痛みを感じることはありませんか?もしかすると、その症状は「心臓弁膜症」のサインかもしれません。超高齢社会で急増している心不全の原因の一つでもある「心臓弁膜症」。その中で代表的な心臓弁膜症である「大動脈弁狭窄症」は、大動脈弁が加齢によって開きにくくなり、全身に血液を送り出す心臓のポンプ機能が低下する病気です。患者さん本人が気づかないうちに進行していることもあります。早期に受診して正確な診断を受けることで治療の選択肢も広がります。特に近年は、患者さんの体に負担の少ない治療法が大きく進歩しています。「人生100年時代」を迎えた今、健康で長生きするには正しい知識と対策が不可欠です。そこで、愛知県内で地域医療に貢献されている循環器がご専門の先生方に大動脈弁狭窄症の病態や治療法についてお聞きしました。



徳田 順之 先生

名古屋大学医学部附属病院 心臓外科 病院講師



村松 崇 先生

藤田医科大学病院 循環器内科 准教授



山本 真功 先生

名古屋ハートセンター 循環器内科 部長

**患者さんの病態や希望を加味した治療法を選択**

**進化した大動脈弁狭窄症の手術治療 SAVRとTAVI**

徳田 大動脈弁狭窄症は重症度によって治療法が異なります。軽症・中等症では必要に応じて症状の緩和や心臓にかかる負担の軽減を目的とした薬物療法が行われますが大動脈弁を治療しているわけではないので、定期的な心エコー図検査等による経過観察が重要になります。一旦症状が現れると予後(病気の経過の見通し)が悪くなるので、(1)症状がある重症以上の患者さんには手術治療が必要になります。手術治療は大きく分けて2通りあります。開胸して機械弁を植入了大動脈弁を取り除いて人工弁(生体弁または機械弁)を取り付ける外科的弁置換術(SAVR)と、開胸せずにカテーテル(細い管)を使って血管から治療を行う「経カテーテル大動脈弁留置術(TAVI)」です(図2)。SAVRは人工心肺装置を使って心臓の動きを止めて行うため、患者さんの体に負担がかかりますが、手術成績が確立した治療法です。一方TAVIは開胸の必要がなく、傷口はカテーテルを挿入する部分

のみで、患者さんの体への負担が少なく入院期間も短いのが特徴です。

山本 大動脈弁狭窄症の患者さんのうち、重症以上の患者さんは国内に56万人いると推計されています(※2)。近年は手術件数が増えている傾向にありますが、2018年の1年間の手術件数は約2万件と報告されています(※3)。重症化して救急車で病院に運ばれてくる高齢の患者さんの中には、症状の変化に気づいたらかかりつけ医を受診すること、そして適切なタイミングで診断や治療につなげることが、とても大切だと思います。

村松 手術治療の選択は、2020年に改訂された日本循環器学会などが提唱するガイドラインを遵守して選択するのが基本です。患者さんの年齢や併存疾患、心臓や体の状態などを考慮し、患者さんに両治療法について説明をしようとして、患者さんのご希望を聞き、弁膜症チーム(※4)で治療の選択肢を決定しています。

**「年だから」と見落としがちなその症状**

ご家族が変化に気づくことも重要

山本 心臓は、全身に血液を循環させるポンプの働きを担う臓器で、4つの部屋に分かれています(図1)。それぞれの部屋の出口にあたる部分には弁があり、これらの弁が正常に開いたり閉じたりすることで、血液を一方方向に効率よく循環させています。その弁の開きが悪くなったり、しっかりと閉じなくなったりした状態を「心臓弁膜症」といいます。心臓弁膜症になると、心臓に負担がかかるため心不全(※5)の症状が現れます。また、心臓弁膜症の主な原因は加齢のため、高齢になれば誰もが発症する可能性があります。そして、心臓弁膜症はどの弁にも起こります。が心臓から全身に血液を送り出す出口の部分にある大動脈弁が硬くなって開きにくくなる「大動脈弁狭窄症」が最も頻度の高い心臓弁膜症です。

村松 「大動脈弁狭窄症」になると、心臓から全身に血液を送り出す働きが悪くなるので、血圧が下がったり、動いた時にすぐに疲れたり、胸の痛みが出たりします。以前と比べて、できなくなったことが増えたり、行動の速さや範囲が変わったり、外出や付き合ひが減ったり、「こんな」「おんな」「疲れた」と言うことが増えたり等、ちょっとした変化を見逃さないことが大切です。大動脈弁狭窄症は高齢者にとっては珍しい病名ではありませんので、ご家族がその

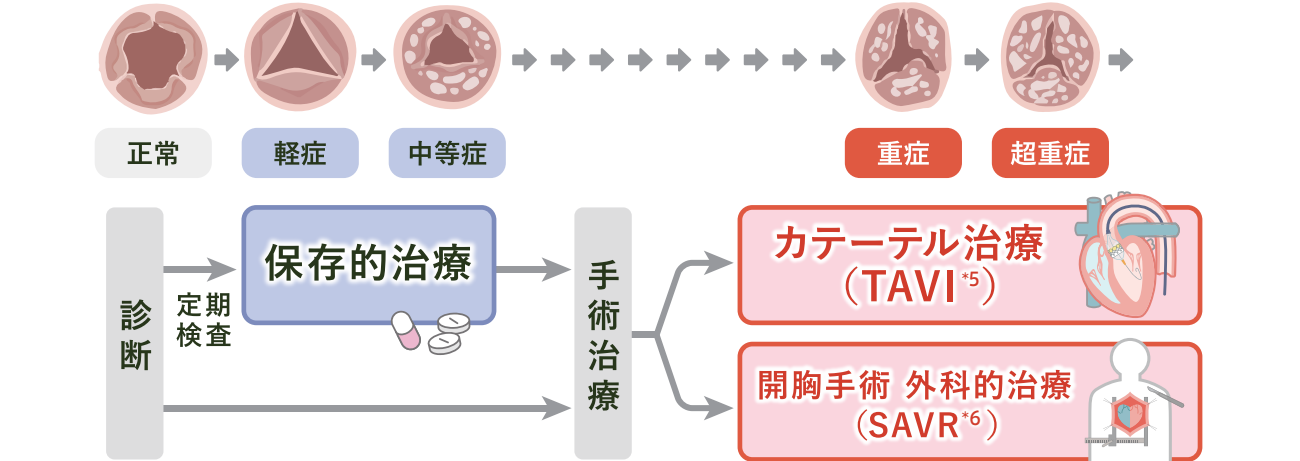
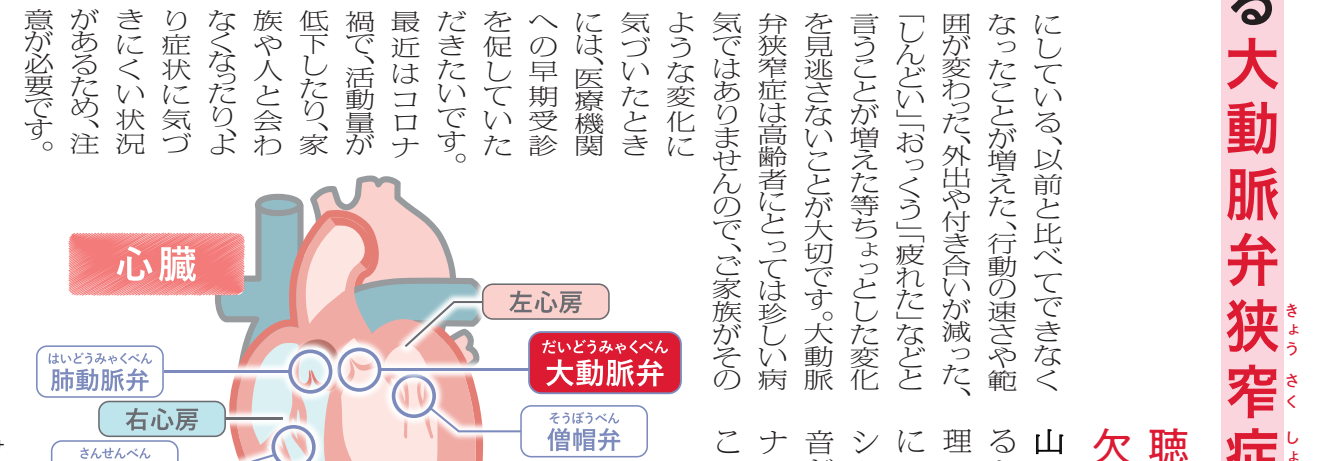


図2 大動脈弁狭窄症の治療方法  
 \*1 Horstkotte D, Loogen F. The Natural History of Aortic Valve Stenosis. Eur Heart J. 1988;9:57-64.  
 \*2 De Sciscio P, et al. Circ Cardiovasc Qual Outcomes 2017;10(6):e003287. \*3 Committee for Scientific Affairs. Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2021;69:179-212.  
 \*4 弁膜症チーム(ハートチーム):循環器内科、心臓血管外科、麻酔科、検査技師、臨床工学士、理学療法士、看護師らで構成する  
 \*5 TAVI: Transcatheter Aortic Valve Implantation \*6 SAVR: Surgical Aortic Valve Replacement



**聴診器による「心音チェック」を欠かさないことが大切**

山本 大動脈弁狭窄症になると、血液が狭いところを無理に通ろうとするため、心臓に聴診器をあけると「シュッシュ」という特徴的な心雑音が聴こえます。最近、コロナ禍を理由に聴診を避けることもあるかと思いますが、胸の音を聴けば、大動脈弁狭窄症であることが多くかと思えます。通院の理由が心臓の病気でない場合は、定期的に全身の検査や聴診を受けていただくことで、体の異常や病気を早期に発見できる可能性があります。大動脈弁狭窄症は、治療すれば治る病気ですので、適切なタイミングで診断されることも重要です。

村松 高齢者の多くは、生活習慣病などの病気があったり、関節の痛みなどで整形外科に通院していたり、かかりつけの医療機関があることが多いかと思えます。通院の理由が心臓の病気でない場合は、定期的に全身の検査や聴診を受けていただくことで、体の異常や病気を早期に発見できる可能性があります。大動脈弁狭窄症は、治療すれば治る病気ですので、適切なタイミングで診断されることも重要です。

**適切なタイミングで手術治療を受けることの重要性**

徳田 手術治療が必要だと診断された場合も、怖がって治療をためらう患者さんはいませんが、治療をせずに様子を見ておられるうちに症状が悪化して、取り返しがつかなくなることもあります。治療は適切なタイミングがあることを理解していただくことが重要だと考えています。気になる症状がある場合は、まずかかりつけ医や循環器専門医にご相談ください。

山本 「家族に迷惑をかけたくないから治療をしな」という患者さんはいらっしゃいますが、病気を治療せずにいた場合、病状が悪化することなく経過できる可能性は少ないです。ご家族に迷惑をかけたくないことを考えるのであれば、きちんと治療を受けることをお勧めします。自覚症状をそれほど感じていなかった患者さんでも、治療を受けた後は階段を上るのが楽になったと話してくださることもあります。症状の改善を感じられた患者さんからは、「もっと早く手術治療を受けていたら良かった」という感想を聞くこともあります。治療前は怖かったけれども、実際に治療を受けてみたら「自分が想像していたよりも怖くなかった」という患者さんはいらっしゃいます。過度に怖がる必要はないのではないかと思います。

村松 症状がないと思っていただけ患者さんの中には、手術後比較的すぐに息がしやすくなったと実感される患者さんもいます。また、退院後、日常生活で何気なくしていた行動が以前よりも楽にできるようになったと感じる場合もあるようです。このように適切なタイミングで治療を受けて、健康寿命を延ばしていくことが重要です。

**最近、こんなこと、こんな症状がないかチェックしてみましょう**

- 散歩の途中で立ち止まるようになった
- トイレに行くだけで、胸がドキドキすることがある
- 階段を上るだけで、息切れが長引くことがある
- 早足で歩くと、胸が痛むことがある
- 外出するのが以前より億劫(おっくう)になった
- 風呂掃除や、洗濯物を干すときに息切れがする
- 坂道や階段のある場所を避けてしまう
- 突然、気を失ってしまうことがある

少しでも気になること、症状があれば、かかりつけ医や専門医に相談しましょう。お近くの病院などはこちら **弁膜症サイト**

心臓弁膜症の小冊子を無料で送りたいです **【お申込みに関して】** 氏名・住所・電話番号・メールアドレス・年齢を明記の上、はがき・FAX・Webのいずれかでご請求ください。

- はがき : 〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-27-12 池袋ウエストパークビル「心臓弁膜症」資料請求事務局
- FAX : 0120-216-180 「心臓弁膜症」資料請求事務局
- Web : 「弁膜症サイト」で検索。「資料請求フォーム」から。

Edwards エドワーズライフサイエンス株式会社 本社: 東京都新宿区西新宿6丁目10番1号 edwards.com/jp

【個人情報の取り扱いについて】情報は当社、若しくは当社が業務を委託する会社(以下「委託先」といいます)より提供させていただきます。予めご了承ください。取得した個人情報(氏名・住所・メールアドレスなど)は心臓弁膜症に関する啓発情報の提供及び当社の疾患啓発サイト「心臓弁膜症サイト」を始めとした疾患啓発活動の改善を目的とした分析のために利用いたします。当社及び委託先は個人情報の保護に関する法律、その他関連法令、及び当社プライバシーポリシー等に準じ、個人情報を厳重管理いたします。Edwards, エドワーズ, Edwards Lifesciences, エドワーズライフサイエンスおよび定型化されたロゴは、Edwards Lifesciences Corporation またはその関係会社の商標です。©2022 Edwards Lifesciences Corporation. All rights reserved. EW2022●●●●